

特別展示



松葉楼装ひ 実を通す風情

# 四大浮世絵師展

〔中右コレクシヨン〕

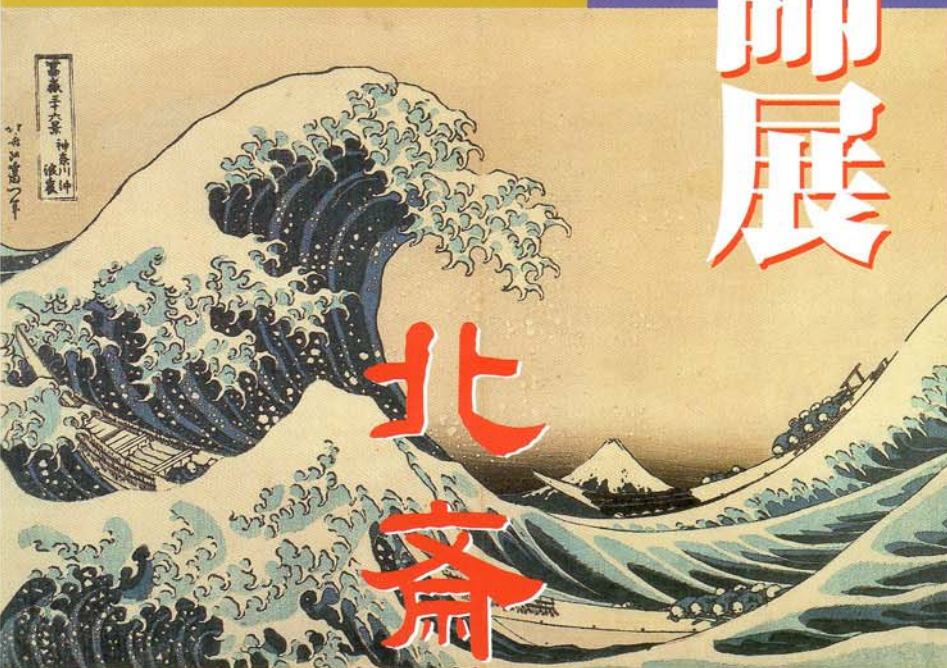
写楽二十点、歌磨二十二点、北斎六十二点、広重四十八点、肉筆浮世絵十一点など、総数百七十二点



嵐龍藏の金貨石部金吉

淺氏之一流  
自然似大友  
若回世相違  
具負却置右

東洲齋  
西園  
騶鴉亭



富嶽三十六景 神奈川冲浪裏



名所江戸百景 大はしあたけの夕立

会期：平成18年5月18日(木)～6月11日(日)

休館日：毎週月曜日 開館時間：10:00～17:00 (毎週金曜日は19:00閉館 入館は30分前まで)

入館料：一般 300円 (中学生以下・65歳以上・障害者手帳等を所持の方は無料)

## 東大阪市民美術センター

〒578-0924 東大阪市吉田6-7-22 TEL:0729-64-1313 FAX:0729-64-1596

ホームページ <http://www.city.higashiosaka.osaka.jp/060/060020/index2.html>



東洲齋写楽  
江戸に住み、寛政六（一七九四）年から翌年にかけてのわずかに十一月に約百四十点の錦絵を制作したが、生没年など一切不明の謎の浮世絵師。絵は極めて個性的で、江戸三座の役者絵と相撲取大童山に限定されており、短期間に作品を残した後、消えるように制作活動を停止した。

# 東洲齋 写楽



松本米三郎のけはい坂の少将実はしのぶ



中島和右衛門のぼうだち長左衛門と中村此蔵の船宿かな川やの権



四世岩井半四郎の乳人重の井

歌川 広重  
寛政九年（一七九七）～安政五年（一八五八）  
安藤広重とも。江戸の定火消同心の子。歌川豊広の門人。詩情豊かな風景版画の連作に名をなし、また花鳥画にも新境地を開いた。「東都名所」「東海道五拾三次」「木曾海道六拾九次」「名所江戸百景」など、風景画家として北斎と庶民の人気を二分した。

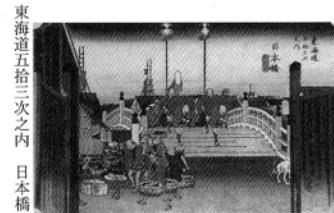
# 歌川 広重



名所江戸百景 亀戸極楽橋



月に雁



東海道五拾三次之内 日本橋

## 【中右コレクション】 四大浮世絵師展 ～写楽・歌麿・北斎・広重～

主催：東大阪市  
監修・指導：国際浮世絵学会常任理事 中右 瑛氏

浮世絵は江戸の生活すべてを題材とし、当時流行の風俗、人気の役者、評判の美人、名高い名所風景などを写してきました。版画という大量制作が可能な技法によって身近な芸術となり、江戸の人々に親しまれただけではなく、その芸術性の高さは早くから国際的にも評価され、斬新な構図や色彩、的確で簡潔な描写は、ゴッホやルノアールなど印象派の画家たちに影響を与えました。

多くの絵師の中で最も有名なのは、東洲齋写楽、喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川広重の四人です。

歌麿は、女性の上半身や顔を画面に大きく描いた「大首絵」を確立、その後も様々な技法を活用し、女性の外面だけでなく、内面の美しさも追求した浮世絵を生み出しました。

写楽は、生き立ちや作品歴など、詳しいことは不明ですが、役者や力士などを生き生きとデフォルメした優れた浮世絵を残しました。

北斎は、風景画、美人画、役者絵はもちろん、歴史画、花鳥画と幅広い主題を手掛けて意欲的な活動を続け、「富嶽三十六景」「北斎漫画」など、70年におよぶ生涯で膨大な作品を残しました。

広重は、「東海道五拾三次」がとくに有名で、見事な遠近法を駆使したその作風は、ゴッホなどに影響を与えました。

本展では、四大浮世絵師の作品約170点を通じて、今なお豊かな表現力と色鮮やかな色彩で、多くの人々を魅了してやまない浮世絵の魅力に迫ります。

# 喜多川 歌麿



山姥と金太郎

喜多川 歌麿  
宝暦三年（一七五三）～文化三年（一八〇六）  
喜多川派の祖。はじめは黄表紙や洒落本などの挿絵を描くが、ついで美人画の分野で、上半身を大きくとらえた大首絵によって、鳥居清長と並ぶ美人画の第一人者となった。



美人十客 有徳人の女房



教訓親の目鏡 俗二云ばくれん

# 葛飾 北斎



富嶽三十六景 尾州不二見原

葛飾 北斎  
宝暦十年（一七六〇）～嘉永二年（一八四九）  
葛飾派の祖。宗理、画狂人、卍など多くの号を持つ。大胆な構成と秀逸な描写力による独特の様式を作りあげ、錦絵、摺物、絵本、肉筆画など膨大な作品を残した。代表作「富嶽三十六景」「北斎漫画」などはヨーロッパ後期印象派に大きな影響を与えている。



百物語 お岩さん



富嶽三十六景 凱風快晴

### 【記念講演会のお知らせ】

日時：平成18年5月21日(日) 午後2時～4時  
講師：中右 瑛氏（国際浮世絵学会常任理事）  
演題：「写楽、歌麿、北斎、広重の謎」

記念講演会参加ご希望の方は、往復葉書に住所・氏名・年齢・電話番号・参加希望の旨を明記の上、市民美術センターまでお申し込み下さい。申込締切は5月10日消印有効で定員80名。葉書1枚で1名のみ申込可。参加希望者多数の場合は抽選となります。なお講演会参加は無料ですが入館料が必要です。

特別展小

[申右コレクション]

# 四大浮世絵師展

写楽20点、歌麿22点、北斎62点、広重48点、肉筆浮世絵10点など、総数172点

会期：平成18年5月18日(木)～6月11日(日)

休館日：毎週月曜日 開館時間：10:00～17:00

(毎週金曜日は19:00閉館。入館は30分前まで。)

写楽 東洲斎



歌麿 喜多川



北斎 葛飾



広重 秋川



東大阪市民美術センター

〒578-0924

東大阪市吉田6-7-22

TEL：0729-64-1313

FAX：0729-64-1596